

プロジェクト管理ソリューションのご紹介

EXEO

エクシオ・デジタルソリューションズ株式会社

〒108-6307 東京都港区三田3-5-27

www.exeo-digitalsolutions.co.jp

©2024 EXEO Digital Solutions, Inc. All rights reserved

アジェンダ

1 会社紹介

2 BPMソリューションのご紹介

3 導入事例

- Appendix : intra-martとは

1. 会社紹介

1-1. エクシオグループ会社紹介

エクシオグループ株式会社(EXEO Group, Inc.)事業内容

課題/資本

社会の課題

- ・環境破壊・資源の枯渇
- ・インフラ老朽化・自然の脅威
- ・人口減少による過疎化・空洞化

産業・社会の変化

- ・急速化技術革新
- ・モノからコトへサービスの変化
- ・社会の意識の変化

強みを支える資本

先進的な働き方改革

「日経Smart Work 経済調査」で
3つ星半に認定

多様な人材の活躍を支える職場

2020年「なでしこ銘柄」に認定
2021年「準なでしこ」に認定

事業拠点

国内 37カ所
(本支店14, 営業所23)

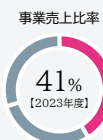
海外 3カ所
(シンガポール、フィリピン、タイ)

自己資本比率

52.5%

事業内容

通信キャリア



長年の実績と卓越した技術力により、すべての通信キャリア事業者様の通信設備について、企画・設計から施工・運用・保守までの一貫した質の高いサービスを全国ワンストップ体制で提供しています。



都市インフラ事業



CATVや鉄道通信設備等の各種通信インフラ、オフィスビルやデータセンターなどの電気関連設備、無電柱化設備などのさまざまなインフラ工事を、設計・施工からメンテナンスまで一貫した体制で行っています



システムソリューション事業



通信ネットワークシステムから、製造業向けの基幹システム、教育・医療系アプリケーションまで、各種企業向けシステムの構築・保守・運用において、ICTを活用したトータルソリューションを提供しています。



事業規模

(2024年3月期連結)

売上高:2,534 億円

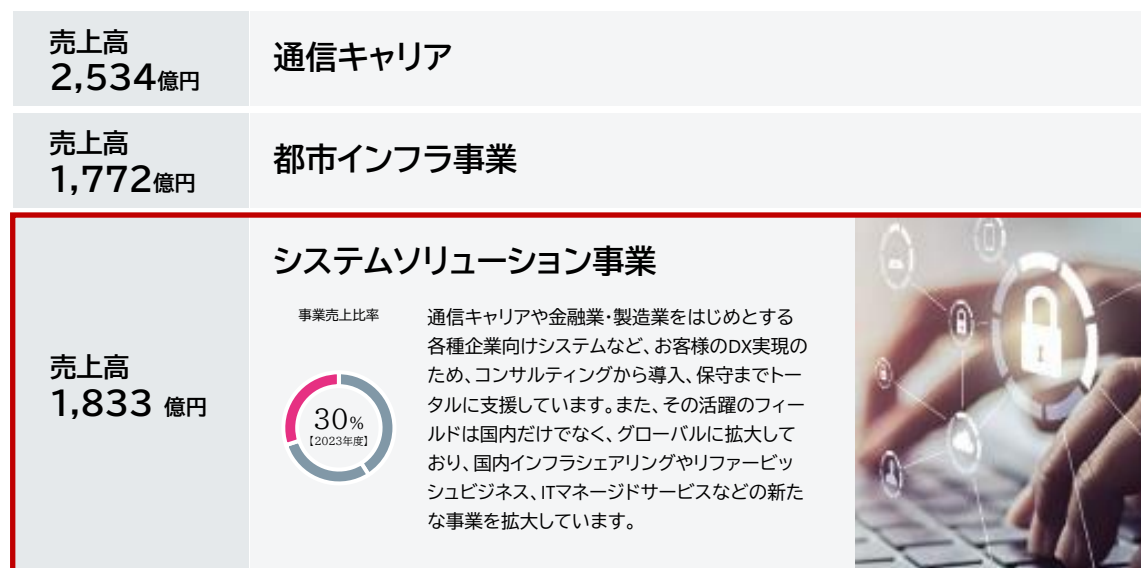
売上高:1,772 億円

売上高:1,833 億円

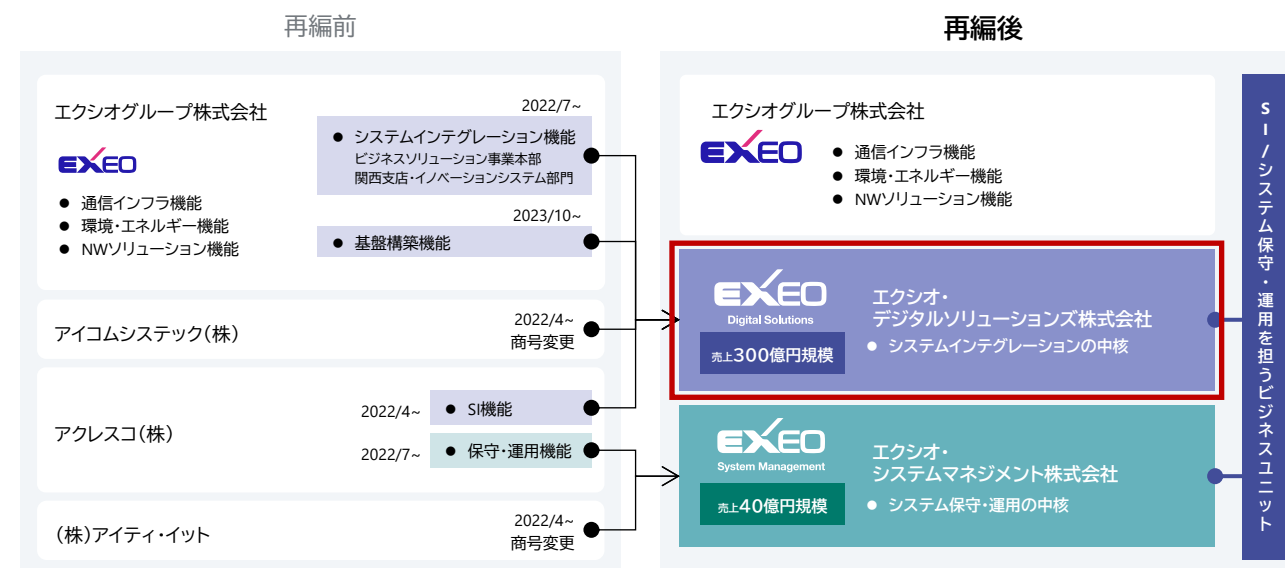
1-2. エクシオ・デジタルソリューションズ会社紹介

名称	エクシオ・デジタルソリューションズ株式会社	英文社名	EXEO Digital Solutions, Inc
所在地	〒108-6307 東京都港区三田3-5-27 住友不動産東京三田サウスタワー		
代表取締役社長	前田 幸一		
資本金	7億2,525万円		
会社概要URL	https://www.exeo-digitalsolutions.co.jp/who-we-are/outline/		

【エクシオグループ事業ドメイン】



【システムソリューション分野 会社再編のイメージ】



1-3. EDSソリューション全体

➤ コンサルティングから保守運用までワンストップでサポート

業務のデジタル化

競争力向上

自治体DX

生産性向上

調達リスク(半導体問題など)

環境問題への取組み

...

提案力

コンサルティング

ヒアリング／改善案検討／提案／導入計画策定

技術力

構築・開発

製品選定／設計／標準化／開発施工

全国拠点

運用・保守

監視／リモートサービス／オンサイト保守

ビジネス成長を目指した
課題定義

業務プロセス改革

- (1) 現状プロセス可視化
- (2) あるべき姿デザイン
- (3) デジタル化方針策定

最適なソリューションで課題解決！

ビジネスプラットフォーム

- (1) ITサービスマネジメント
- (2) デジタルワークフロー
- (3) データ活用

現場の生産性向上

- (1) RPA・AIの導入
- (2) 建設DX／製造業DX
- (3) ウェアラブルデバイス

音声コミュニケーション

- (1) 音声等のツール統合
- (2) PBXのクラウド化
- (3) リファアービッシュ

ITインフラ・セキュリティ

- (1) 統合ネットワーク
- (2) マネージドネットワークファイバ
- (3) SASE-SOC／ゼロトラスト

スマートシティ・IoT

- (1) 水門自動開閉／水位監視
- (2) スマートビル

全国体制で
ビジネスをサポート

ビジネスプロセス
アウトソーシング

- (1) 監視保守運用
- (2) マネージドサービス
- (3) 全国均一体制

HOT

- ◆カスタマセンター新設
- ◆中核会社を設立し事業開始

2. BPMソリューションのご紹介

2. イントラマートビジネスの取り組み

このようなことでお困りのお客様へ

- 業務標準化、可視化を進め、ITによる更なる効率化を図りたい
- 工程管理、部門間連携にITを活用し、工期短縮や稼働率向上、収益力強化につなげたい
- 業務改善に取り組みたいので、計画策定など活動をスタートするための支援をしてほしい
- 現場業務のデジタル化を進めたい。対象業務の優先度を見極め、効果を見ながら拡げていきたい

BPMの導入はエクシオ・デジタルソリューションズにお任せください！

パートナーとしての実績

約**20**年

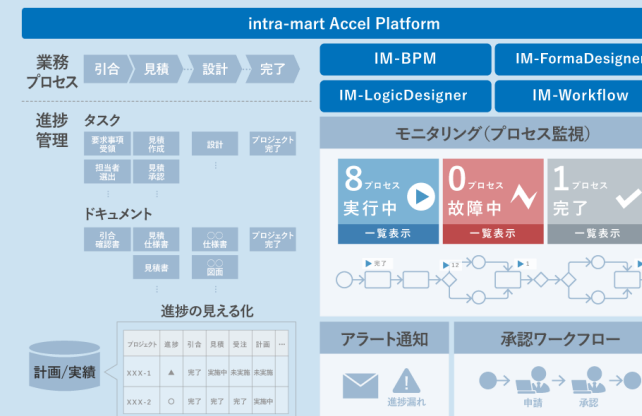
社内導入を通して
得た知見、技術者育成

約**20**年

長年の内製保守だから出来る
ユーザー側の視点に
立ったご提案

これまで20年近くにわたり、NTTデータ イントラマート社のパートナーとして、お客様のプロセス改善、intra-mart製品の導入設計、システム構築のご支援に携わってきました。エクシオグループの社内システムにも導入を実施し、自らシステム構築、改善のサイクルを長年続けてきており、その過程で培ったノウハウで、ユーザー側の視点を重視したご提案を行っています。

BPMフレームワーク



point1. プロセスの可視化と改善をサポート

- お客様の要件を定義したTo-Beプロセスからintra-martへの実装に落とし込むためのツール、ノウハウを保有していることが当社の強みです
- 実装を一から始める方法に比べて、よりスピーディーに業務に合う(要件に忠実な)システムの構築が可能となります

特徴①

迅速かつ効率的な合意形成(iGrafx活用)

業務プロセスを整理する際のテンプレートをもとにヒアリング・ディスカッションすることで、効率的に合意形成できます。



iGrafx®

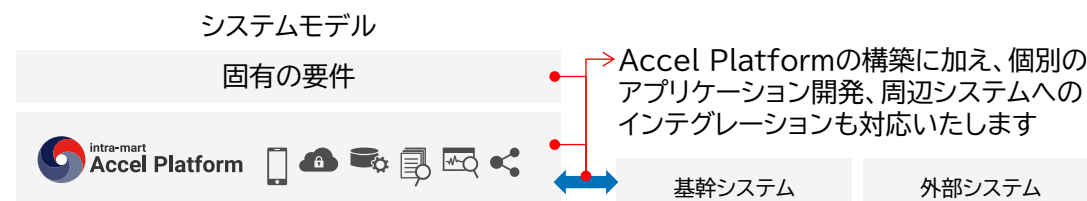
プロセステンプレート

EDSの
強み

特徴②

BPMフレームワークによるスピーディーな導入

iGrafxで策定したTo-Beプロセスを、当社が持つintra-martフレームワークにセットすることで、スピーディーなシステム構築が可能となります。



intra-mart®

BPMフレームワーク

- 国内シェアが高い可視化ツール「iGrafx」を活用し効率的なディスカッションをサポート
- プロセステンプレートを使った迅速なTo-Beモデル策定

point2. 業界ベストプラクティスを活用したPDCAサイクル

製造業や建設エンジニアリング業をはじめとする幅広い業界のお客様へのご支援実績をもとに、「iGrafx + intra-mart」を活用したBPMソリューションで、業務プロセスを可視化し、継続的な業務改善を実現します

1 業務プロセスの可視化

- 業務プロセスを俯瞰して問題を抽出
- 世界標準で統一感のある業務プロセスを作成(BPMN2.0)



2 BPMフレームワークを活用

- 策定したTo-Beプロセスをフレームワークにセット
- 都度見直した業務プロセスで進捗管理が可能

4 業務プロセス見直し

- 運用課題を定期MTGにて棚卸し改善提案
- 蓄積したデータを解析し改善対策立案

見直したプロセスを再度可視化



ACTION
改善

CHECK
評価

プロセスモニタリング(IM-BPM)



▲ 見えていなかった問題やボトルネックを定量的に判定

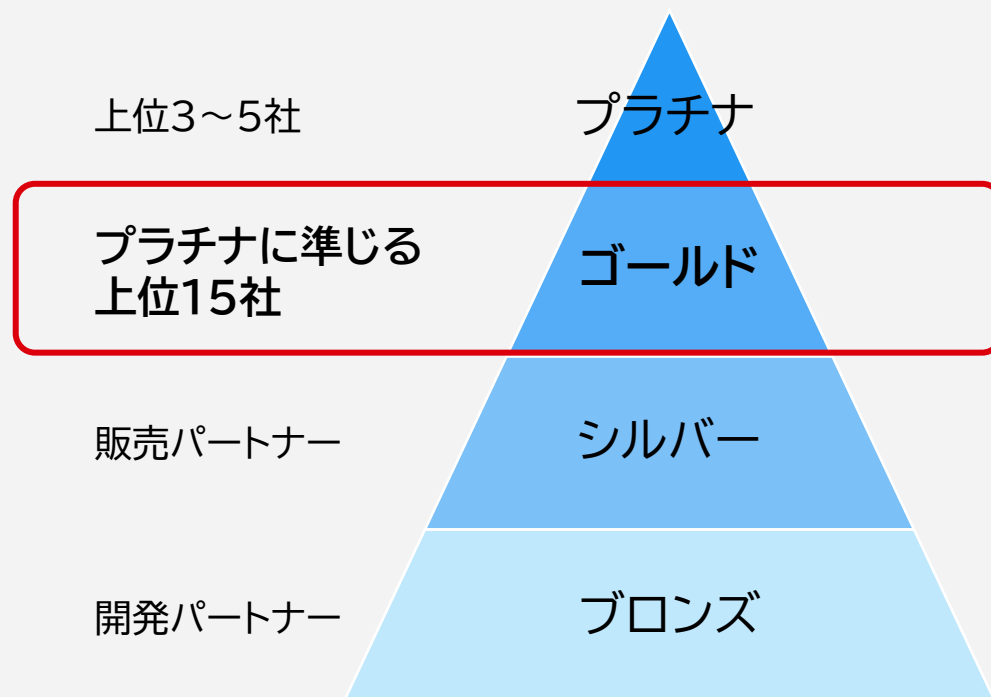
3 実行状況をモニタリング

- モニタリングによる状況把握
- プッシュアラートで遅れを通知し担当者の負担を軽減

point3. ゴールドパートナー

数多くの実績と、intra-mart認定資格を保有する技術者が、導入、PDCA定着までお客様を徹底サポートいたします。

◆ パートナーランク



◆ 認定資格者数

NTTデータ イントラマート社の認定制度における認定資格取得者数として、最高位の5つ星を獲得しております

認定資格者数
(2025年3月31日現在)

81名
★★★★★

ローコード
デベロッパー

26名

スペシャリスト

29名

プロフェッショナル

8名

コーディネーター

18名

3. 導入事例

事例一覧

No	業種	プロジェクト概要	技術要素
1	プラント建設	BPM基盤導入 ERPパッケージにない工事進捗管理機能をintra-martを共通基盤にして構築	IM-BPM Accel-Mart on AWS Development
2	電機メーカー	BPM基盤導入 システム基盤としてintra-martを導入。1stステップとして人事・総務の管理業務を効率化	IM-BPM Accel Collaboration ADやLDAP(メールサーバ)連携
3	通信	BPM基盤導入 BPM基盤導入による業務効率化と内部統制強化を実現。Excelによる手作業や個別データ管理を廃止	IM-BPM Tableau
4	機器メーカー	BPM導入・検証支援 経理業務の業務改善。プロセスの見える化とPOCを実施	intra-mart Cloud-Base
5	設備工事	BPM基盤導入支援 施工管理作業の改善・効率化を目的としたBPM導入技術支援	IM-BPM
6	情報・通信	BPM基盤導入および内製化スタートアップサービス BPMとRPAの組み合わせによる営業業務の効率化。内製化支援として設計や実装手順のレクチャーを実施	IM-BPM RPA
7	金融	BPM基盤導入 購買／経費支払業務において、社内の申請～承認プロセスのワークフロー化のためBPM基盤を導入	IM-BPM
8	飲料メーカー	ワークフロー導入 全社で利用できる情報系システム基盤(ワークフロー、文書管理)を構築	IM-Workflow Accel-Mart on AWS Accel Documents

事例概要 – 帝人エンジニアリング様 –

業務の可視化により合意形成を促進。ロードマップを描き、デジタル化を計画的かつ効果的に推進

背景

- 基幹システム刷新が進む中、ERPの機能と業務とのギャップをどう埋めるかが課題だった
- 特に工事管理業務は現場ごとにバラバラで、工事進捗や問題が管理者から把握しづらい状態であった

実施内容

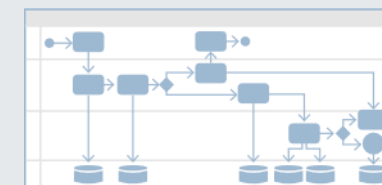
1 As-Is可視化 (現状把握) 2 To-Beモデル策定 3 デジタル化企画 4 デジタル化

- 現状の業務プロセス図を作成。業務プロセス図を俯瞰して問題を抽出。基幹システムで解決できる問題とそうでない問題を明確にした
- 業務の最適化に向けたロードマップを描き、基幹システム刷新と合わせて取り組むべきデジタル化施策を立案

効果

- ✓ 業務の流れを視覚的に表現した業務プロセス図をベースに議論することで、関係者の理解を促し、合意形成までの時間を短縮
- ✓ コンサルティングの活用により、第3者の視点で全体最適な施策を立案できた

業務可視化 ・問題抽出



業務プロセス図

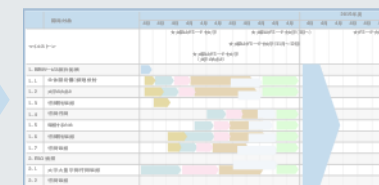


問題一覧

ロードマップ 作成



問題管理表



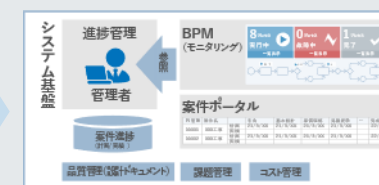
ロードマップ

ロードマップに沿って デジタル化を推進



業務プロセス図

- 業務要求
- システム導入計画



プロジェクト管理システム

※BPMシステム … 業務プロセスの実行支援、進捗管理を行うシステム

事例概要

売上高:5,000億以上
従業員:3,000人以上



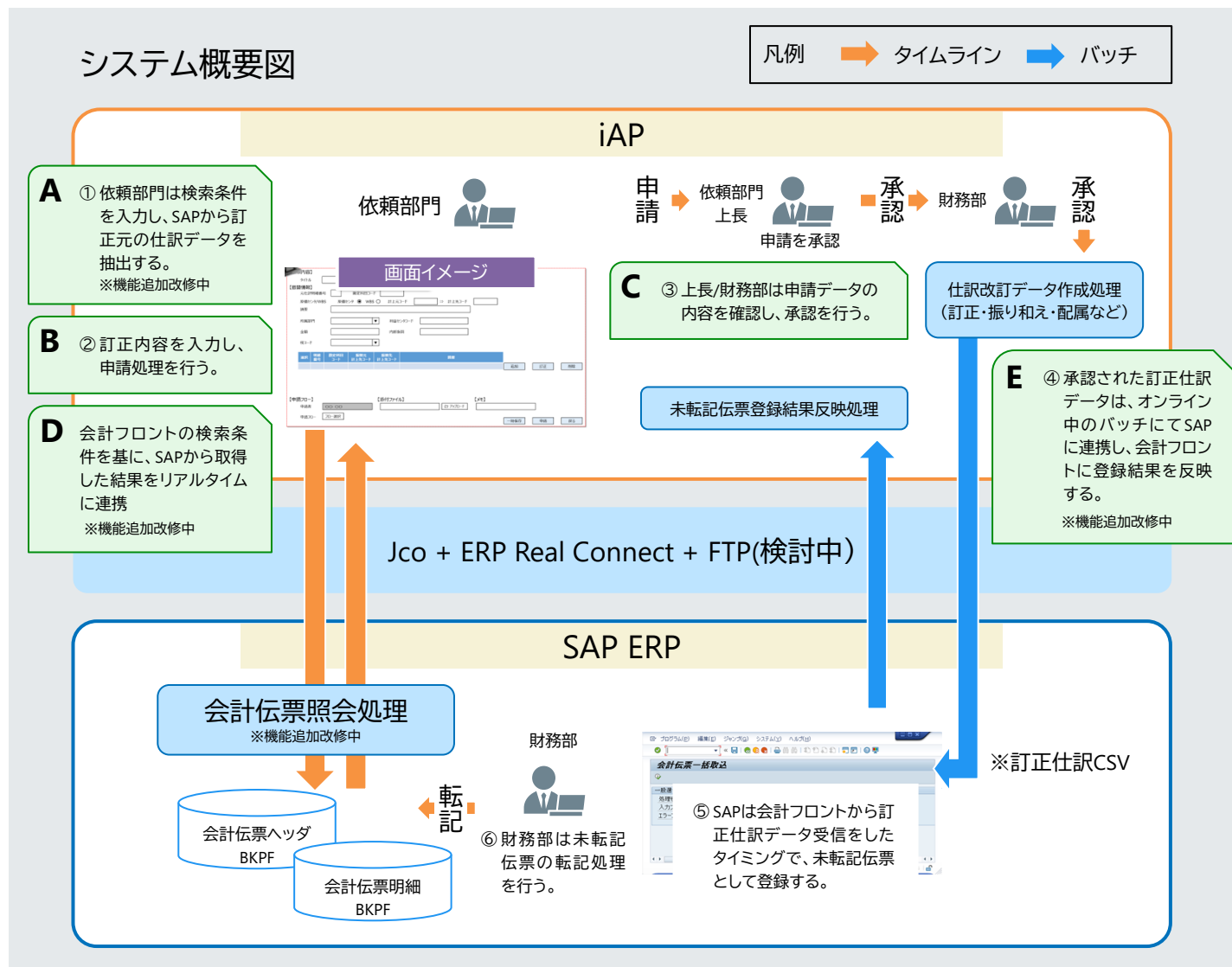
システム全体概要

エクシオグループ（株）の社内システムの一つで、各部門で作成する依頼情報をもとにSAPに仕訳を登録し財務会計に反映する。Excelによる依頼（手作業）をシステム化。

2022/10、サービス提供開始

□システム化の目的

- ・ 財務部関係者の時間外労働時間の低減と平準化
- ・ ペーパーレスによる業務の効率化
- ・ 二重作業の廃止による依頼部門/財務部門の負荷の低減



事例概要 ～ 電機メーカー ～

売上高:200億以上
従業員:500人以上



システム基盤としてintra-martを導入。1stステップとして人事・総務の管理業務の効率化に取り組む

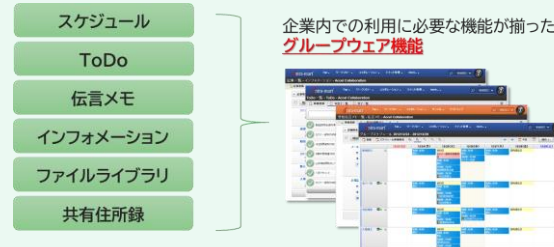
背景

- 従業員および従業員のアカウントやメール管理、携帯電話管理など、人事・総務の管理業務の効率が悪かった。
- 今後のシステム構築時の基盤かつ、グループウェア機能も備えたシステム基盤構築を要望されていた。

実施概要

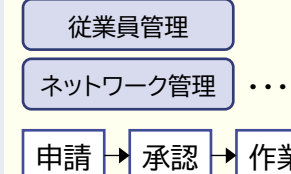
- システム基盤として、intra-mart BPMを採用し、ADやLDAP(メールサーバ)連携も含めた業務効率化を実現。
- グループウェアとしては、intra-mart Accel Collaboration を採用。

グループウェア (Accel Collaboration)



業務改革ツール(IM-BPM)

ビジネスオペレーション



共通 コンポーネント

共通マスタ

データ連携
による更新

既存インフラ



AD

- ・アカウントの登録
- ・グループの登録
- ※intra-martログイン時の認証もADを利用



LDAP(メールサーバ)

- ・メールアドレスの登録
- ・メーリングリストへの登録

事例概要 ～ 大手通信事業者様 ～

売上高:1兆以上
従業員:1,000人以上



BPM基盤導入による業務効率化と内部統制強化を実現。Excelによる手作業や個別データ管理の廃止

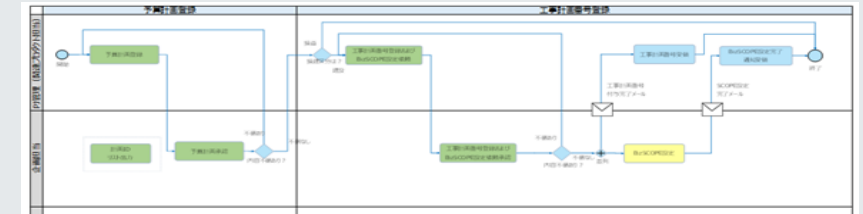
背景

- Excelでの手作業や個別データ管理が多く、業務効率が悪かった。
- 部門全体の状況管理や傾向分析には、各担当へのデータ収集依頼からが必要で非常に時間を要し、精度に欠けていた。

実施概要

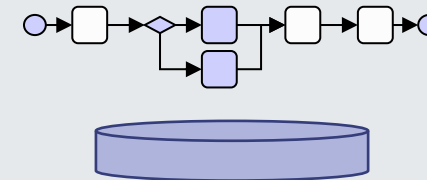
- システム基盤として、intra-mart BPMを採用し、短期間でのシステム構築を実現。
- BPM基盤で集約されたデータを活用して、Tableauでの可視化にも取り組み。

プロセス整理



業務プロセスの整理と現状課題への対策を検討

業務改革ツール(IM-BPM)



予算管理

稼働管理

協業費管理



経理システム
支払データの実績取込み



PJ管理システム
稼働実績/工事情報の提供



作業指示書の出力
稼働報告書の取込

Tableau



データ可視化・傾向分析

事例概要 ～ 飲料メーカー様 ～

売上高:200億以上
従業員:500人以上

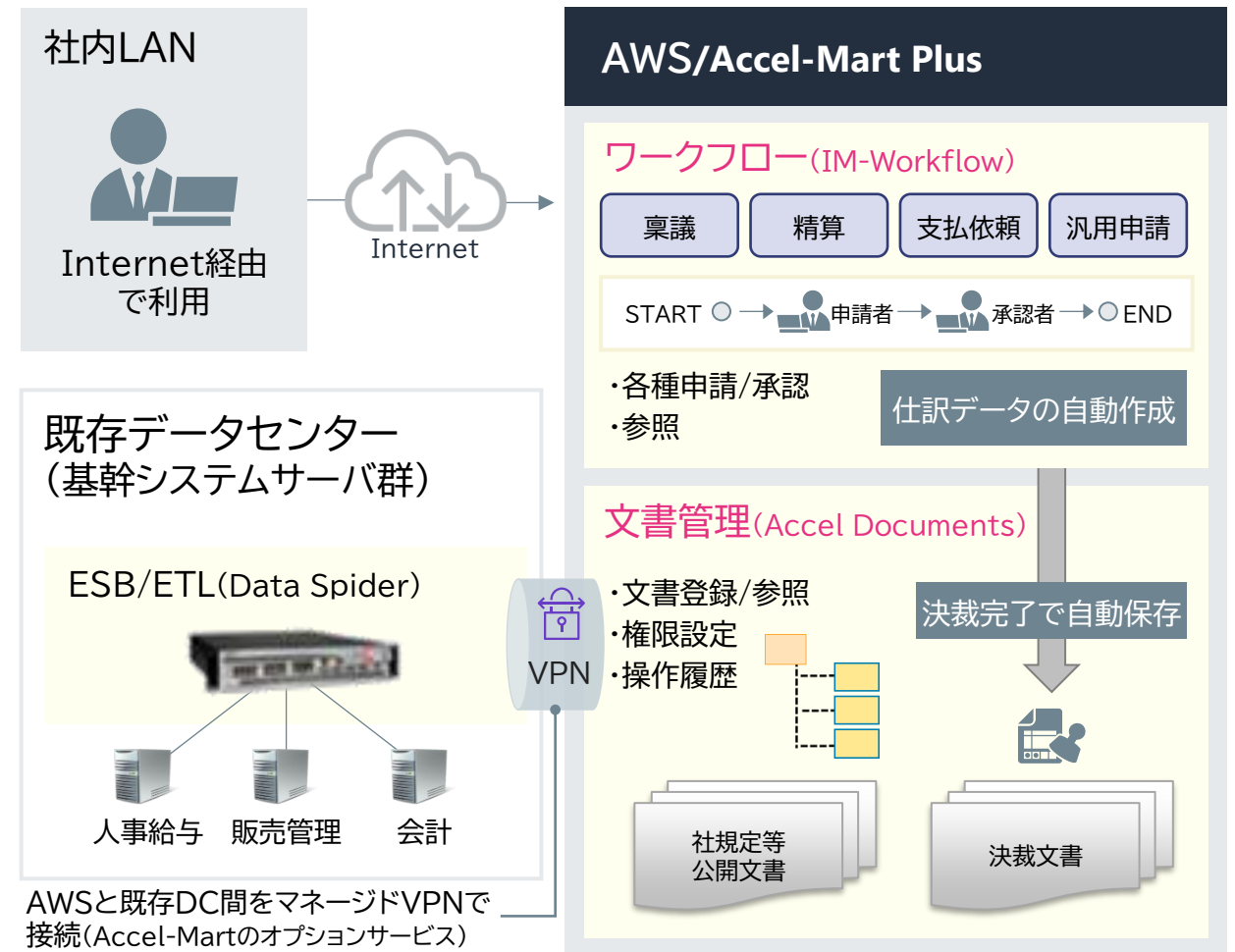
情報系システムの基盤としてAccel-martを採用。クラウドと基幹システムとのデータ連携も実現

背景

- 全社で利用できる情報系システム基盤(ワークフロー、文書管理)の整備を要望されていた。
- 複数システムへの二重入力や手作業によるデータチェック等、非効率な業務を改善したかった。

実施概要

- intra-martのクラウドサービス(Accel-Mart)で、情報系システム基盤(ワークフローと文書管理)の整備。
- 基幹システム群とは、VPN経由でのESB/ETLを整備し、データ連携の対応中。



Appendix : intra-martとは

① 会社概要／実績



会社名	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート
代表者	中山 義人
設立	2000年2月22日
資本金	73,875万円
市場区分	東京証券取引所 スタンダード市場
所在地	東京都港区赤坂四丁目15番1号
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ パッケージソフトウェア「intra-mart」の開発・販売 ・ 上記に付帯するシステム開発、保守、教育及び運用 ・ 業務改革に関するコンサルティングサービス/ツール提供 ・ その他付帯する事業(パッケージに付随する機器販売等)

(※1) イントラマート社の独自調査(2024年4月時点の累計導入社数)

(※2) 富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2024年版」より<ワークフロー・パッケージ・2023年度金額ベース>

国内外パートナー



200 社

導入実績



10,400 社 ※1

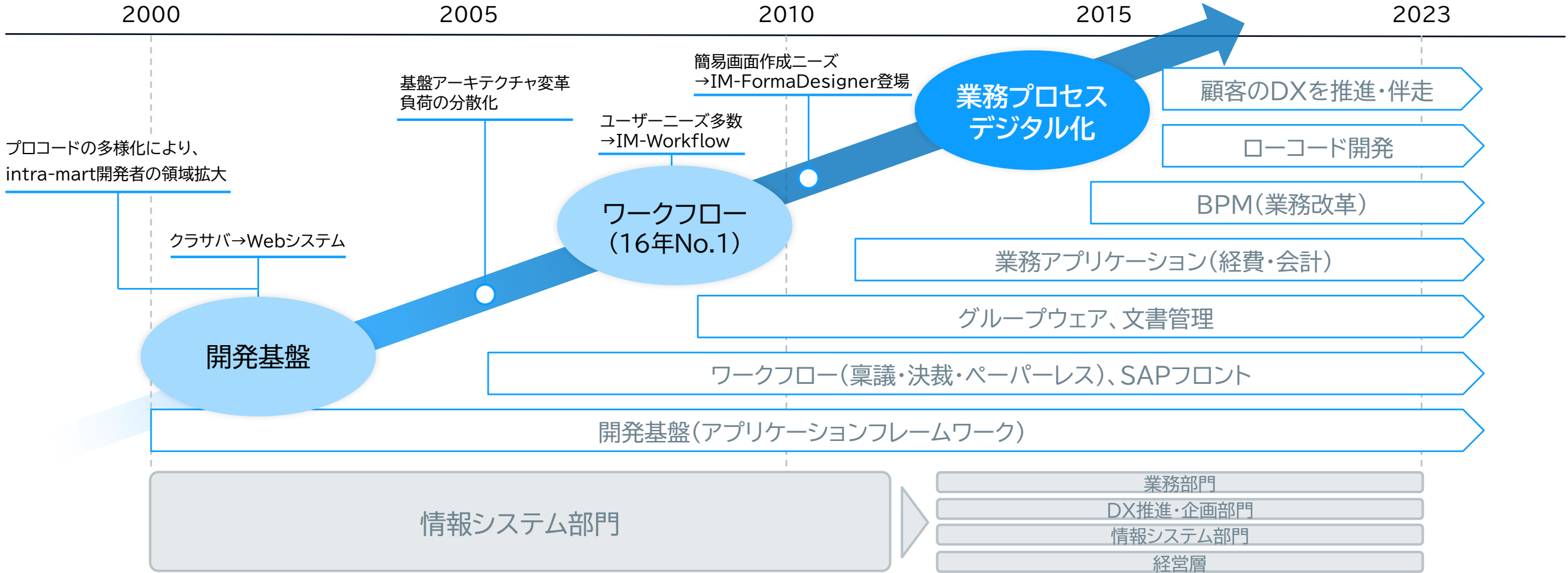
ワークフロー・BPM



17年 シェア
連続 No.1 ※2

② intra-martの変遷

情報システム部門主導の社内システムから始まり、近年は経営企画や業務部門主導の効率化（スピード向上、コスト削減）を目的とした導入テーマへと変化。



③ intra-martとは？

豊富な機能を取り揃えたローコードプラットフォーム

Design

Modeling

Execution

Monitoring

Optimization

タスクオートメーション

RPA IM-RPA

フォームデザイン

UIデザイン

画面

業務プロセス

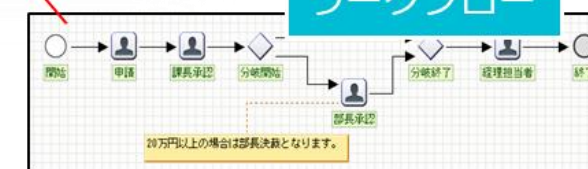
ビジネスロジック

分岐判断

ワークフロー

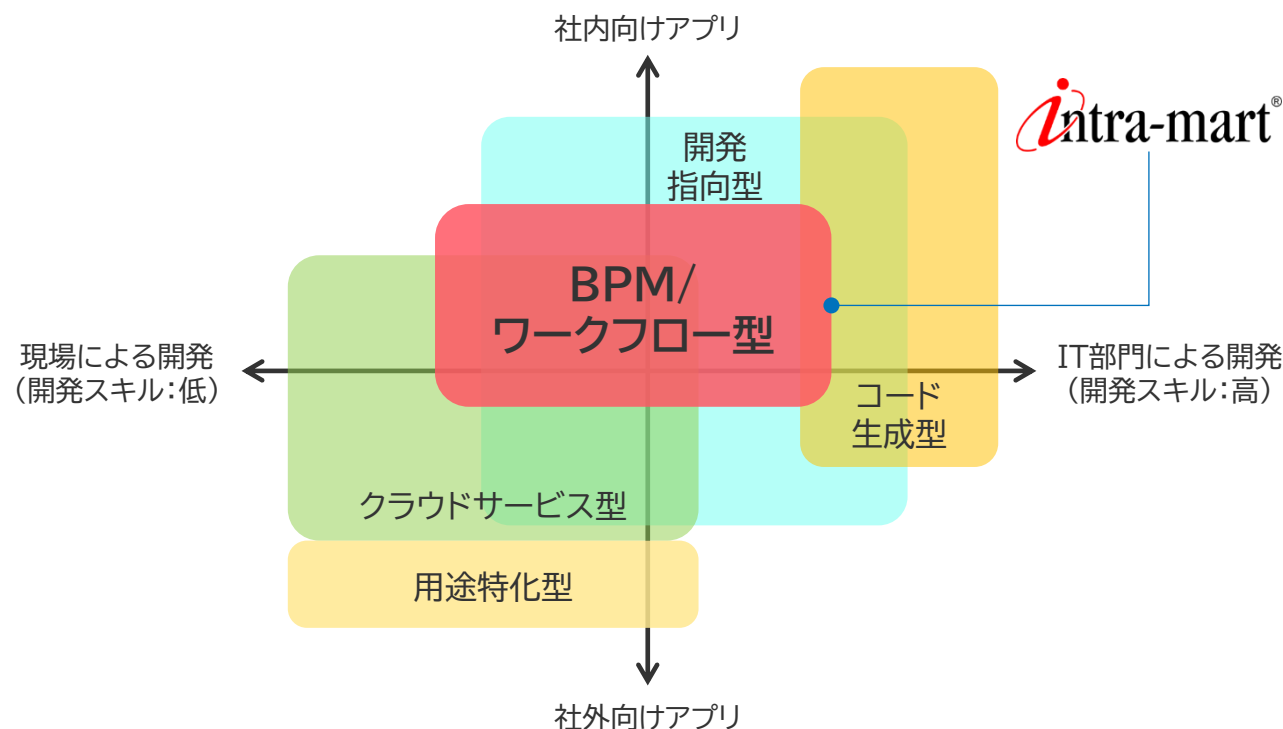
ブラウザ上で完結するLow-Code Platformを提供いたします。

Condition	Condition	Conclusion
Current Hour	Current Hour	Greeting
>= 0	<= 11	Is Good Morning
> 11	<= 17	Is Good Afternoon
> 17	<= 22	Is Good Evening
> 22	<= 24	Is Good Night



④ ローコード市場におけるイントラマートの立ち位置

ローコードプラットフォームの適用領域



ローコードプラットフォームは色々な製品が市場に出ておりますが、intra-martはBPM/ワークフロー型に属されます。BPMを用いて分断された各作業を一連の業務プロセスとして可視化・標準化し、継続的な業務改善をサポートいたします。

当社は業務プロセスのフルオートメーション化を指向しており、IoT、OCR、RPA、AI、プロセスマイニングなど最新テクノロジーを組み合わせ、業務プロセス全体をシームレスに連携させることで生産性向上を実現していきます。

クラウド・オンプレミスの両方を対応しており、ローコードでのシステム開発が難しくてもjavascript/Javaでシステム開発ができるのもintra-martの特長です。



【出展】 IDC Japan, 2021年3月「2021年 国内ローコード／ノーコードプラットフォーム市場動向:開発の民主化に向けて動き出した国内市場」

The background is a dark blue field filled with a complex network of thin, light blue lines and dots, resembling a digital or molecular structure. Overlaid on this are several large, semi-transparent geometric shapes, including triangles, hexagons, and polygons, some of which are outlined in a slightly different shade of blue. The overall effect is one of a dynamic, interconnected digital space.

EXEO

デジタル社会をリードする